

資料一用語解説



屋根

屋根葺材
棧瓦葺き
さんがわらぶき

本瓦の平瓦と丸瓦を合わせ、波形状にした瓦で葺いたもの。民家を中心に一般的に用いられる。

屋根葺材
本瓦葺き
ほんがわらぶき

平瓦と丸瓦を交互に組み合わせ、並べた葺き方。現在では蔵や寺院など特別な建物を中心に用いられる。

屋根葺材
金属板葺き
きんぞくばんぶき

金属板で屋根を葺くことで、材料は亜鉛メッキ鋼板(トタン)、錫メッキ鋼板(ブリキ)、銅板などを使う。

瓦材
いぶし瓦
いぶしがわら

いぶしと呼ばれる薫化を行い、炭素の微粉を付着させた瓦。



瓦材
釉薬瓦
ゆうやくがわら

瓦表面の吸水を防止するため、釉薬をかけて焼成し、ガラス質を形成させた瓦。



軒瓦
鎌瓦
かまがわら

万十瓦のように小巴がなく、軒先の垂れも小さな並剣と呼ばれる形状になっている軒瓦。



軒瓦
一文字瓦
いちもんじがわら

見付下端部が一直線となる軒瓦。すっきりとした印象を与える。



軒瓦
一文字瓦 (駒付き)
いちもんじがわら (こまつき)

一文字瓦に駒をつけ、合端の合わせを省略した現代の軒瓦。



軒瓦
万十瓦
まんじゅうがわら

丸いまんじゅうのような小巴が付いた軒瓦。現在一般的に使われる。



奥付熨斗
熨斗積
のしづみ

軒底の壁付部分で熨斗瓦を数段重なり積み、上部は漆喰のひねり掛けで押えたもの。



奥付熨斗
青海波
せいかいは

青海波(半円形を重ねた模様)形状の練込瓦を用いた奥付熨斗。



奥付熨斗
松川菱
まつかわびし

松川菱(菱の上下にさらに小さな菱を付けた模様)形状の練込瓦を用いた奥付熨斗。

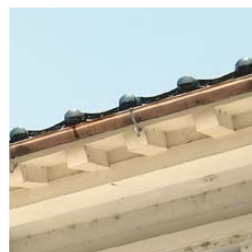


軒裏



軒裏仕上
軒裏あらわし
のきうらあらわし

野地板や垂木などの屋根下地材を化粧としてそのまま露出させたもの。



軒裏仕上
軒裏塗込
のきうらぬりごめ

野地板や垂木などの屋根下地材を土や漆喰で被覆したもの。



軒廻り意匠
出桁
だしげた

庇や軒を支えるために外壁面より外に出した桁。



軒廻り意匠
腕木
うでぎ

庇や軒を支えるために柱や梁などから横に突き出させた横木。出石では多様な意匠が見られる。



軒廻り意匠
持送り板
もちおくりいた

出桁を支える腕木や小庇の下部に設けられた板状の支持部材。出石では多様な意匠が見られる。



軒廻り意匠
下り掛
さがりがけ

1階軒裏に設けられた幕板。暖簾や簾を掛けるのに利用された。



壁

壁形式
真壁
しんかべ

構造躯体としてつくられた木造軸組が、そのまま化粧材として表面に露出する壁のつくり。

壁形式
大壁
おおかべ

柱などが壁面の外に出ることがないように、覆い隠すようにした壁のつくり。

壁材
土壁 (桜尾の土色)
つちかべ (さくらおのつちいろ)

土を使用した左官仕上げの壁の総称。出石では「桜尾の土色」と呼ばれる赤い色の土壁がよく見られる。

壁材
土壁 (鳥の子色)
つちかべ (とこのいろ)

土を使用した左官仕上げの壁の総称。出石では黄色がかかった鳥の子色の土壁もよく見られる。



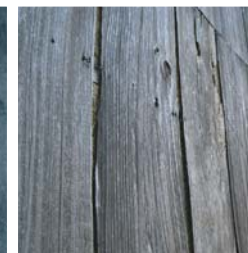
壁材
白漆喰塗
しろしゅくいぬり

消石灰、砂、のり、すさを主材料として、顔料を混ぜずに仕上げた白い壁。



壁材
黒漆喰塗
くろしゅくいぬり

漆喰に黒色顔料を配合して仕上げた黒い壁。



壁材
板張
いたばり

板を壁に張った羽目板張や、下から少しずつ重ね張った下見板張などが見られる。



壁廻り意匠
卯建
うだつ

建物の両側の壁を少し高くした袖壁。防火用とも言われるが、意匠的な意味合いが強い。



開口部



開口部
木製ガラス窓
もくせいからすまど

格子を備えない開口部には、凝ったガラスの割付パターンを持つ多様な木製建具が見られる。



開口部
摺り上げ戸
すりあげど

3枚の板で構成された建具。各板を上部に摺り上げることで、開放的な店構えをつくる。出石の町家の原形。



開口部
虫籠窓
むしごまど

通りに面する2階に設けられた採光や通風を目的とする窓で、格子は土や漆喰で塗り込められる。



開口部
木製手摺
もくせいてすり

2階の開口部に併設された、木製の手摺。



開口部
出格子窓
でこうしまど

壁面の外側に張り出し、窓枠及び建具としてつくられた格子戸が嵌め込まれたもの。

軒裏仕上
軒裏塗込
のきうらぬりごめ

野地板や垂木などの屋根下地材を土や漆喰で被覆したもの。

軒廻り意匠
出桁
だしげた

庇や軒を支えるために外壁面より外に出した桁。

軒廻り意匠
腕木
うでぎ

庇や軒を支えるために柱や梁などから横に突き出させた横木。出石では多様な意匠が見られる。

軒廻り意匠
持送り板
もちおくりいた

出桁を支える腕木や小庇の下部に設けられた板状の支持部材。出石では多様な意匠が見られる。

軒廻り意匠
下り掛
さがりがけ

1階軒裏に設けられた幕板。暖簾や簾を掛けるのに利用された。



格子廻り
格子
こうし

出石の格子は見込巾が見付巾よりかなり薄く、縦格子の間隔も狭いため、非常に繊細な意匠を構成する。



格子廻り
目透し装飾
めすかしそうしよく

採光などを目的に、格子の上・中部に多様なパターンの装飾的变化を設けたものがよく見られる。

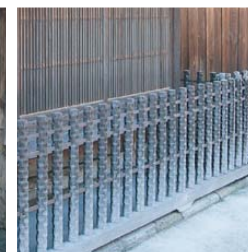


基礎・犬走り



基礎
切石積
きりいしづみ

洪水対策などのための高い石積みの土台。



犬走り
駒寄
こまよせ

軒下に設けられた、人馬の進入を防ぐための、竹や角材などでつくる背の低い柵。